



県議会議員講座「こんにちは！県議会です」開催概要

令和6年12月17日（火）9時50分～10時40分

宮崎県立都城農業高等学校 全学年 581名

※1年生197名、2年生192名、3年生192名

講師：下 沖 篤 史 議員

脇 谷 のりこ 議員

開催内容

- | | |
|------------------|--------------|
| ① 学校あいさつ | ④ 県議会議員活動の紹介 |
| ② 講師自己紹介 | ⑤ 質疑応答 |
| ③ 県議会の仕組みや役割等の説明 | ⑥ 生徒代表あいさつ |

○ 講座内容

講師である下沖篤史議員、脇谷のりこ議員の自己紹介のあと、県議会の役割や仕組み、県議会の動きを知る方法、意見を県議会に伝える方法などについて、スライドで説明したほか、議員活動等について生徒から質問を受けました。

【質問】

県議会議員としてのポリシーを教えてください。

【下沖篤史 議員】

まずは「会って」、「見て」、「聞く」ということである。

要望等があった際は現場に行って、確認をして、話を聞いて、声を届けるということをポリシーにしている。

【脇谷のりこ 議員】

たくさんの人と会って、その人達の声を県議会に届けるということである。

宮崎県議会議員で女性は4人しかいないので、特に女性ならではの声を届けることをポリシーにしている。

【質問】

県議会議員としてやりがいを感じることを教えてください。

【下沖篤史 議員】

困っている方達から要望を聞き、我々議員が県に声を届けて、要望が叶ったときに喜んでもらえることが一番嬉しく、やりがいを感じられる瞬間である。

【脇谷のりこ 議員】

同じく、要望が叶えられてお礼を言われたときである。

以前、低体重児をもつ母親達から、同じ境遇の方達のためのハンドブックを作りたいという要望を受けたが、難しい部分がありながらもハンドブックが完成し、病院や保健所に配付できたことが嬉しかった。



（下沖篤史 議員）



（脇谷のりこ 議員）

【質問】

若い人の投票率が上がらないことについてどのように思うか教えてほしい。

【下沖篤史 議員】

選挙に一票を投じることが物事を変えていくことになる。ネットやSNSでは様々な政治の情報が出ているので、それらを見て少しずつ興味を持ってもらい、試しにでも良いので、一度投票に行ってもらいたい。

【脇谷のりこ 議員】

若い人からの要望の一つにバスや電車の便が少ない等の交通不便の解消がある。そのことを県に訴えかけたところ、アンケート調査の結果を見て検討することだったが、その結果は、高齢者と比べて若い人の答えがとても少なかった。

要望が多ければ我々もバックアップできるので、皆さんもこのようなアンケート等に答えることで声を届けてほしい。



○生徒代表あいさつ

本日はお忙しい中、私達のために時間を割いていただきありがとうございます。

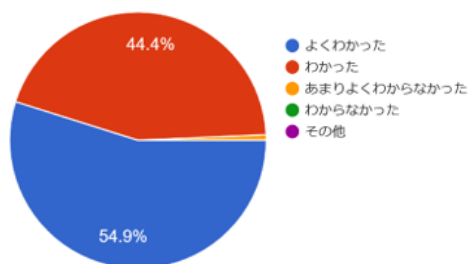
講話を聞いて県議会議員のやりがいを感じられて、私も18歳なので、7年後には立候補できるのだと意識が高まりました。本当にありがとうございました。



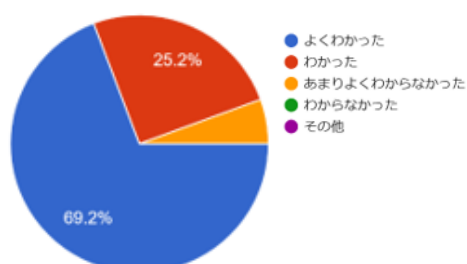
○ 受講された生徒の皆さんへのアンケート結果 ※回答数：1年生 144名、2年生 143名、3年生 131名

問1 講座の内容はわかりやすかったですか。

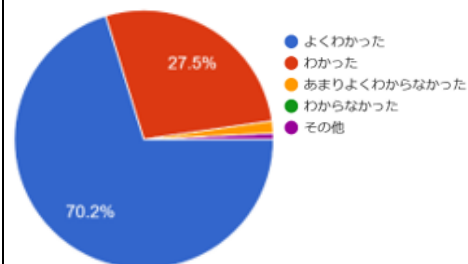
1年生



2年生

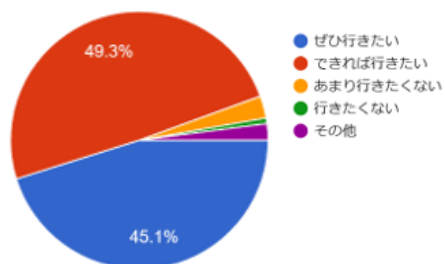


3年生

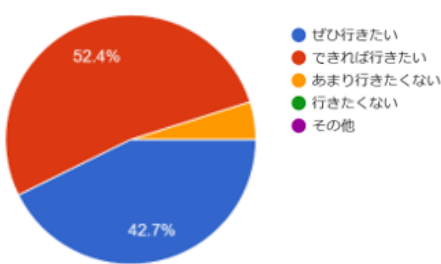


問2 有権者になったら投票に行ってみたいと思いましたか。

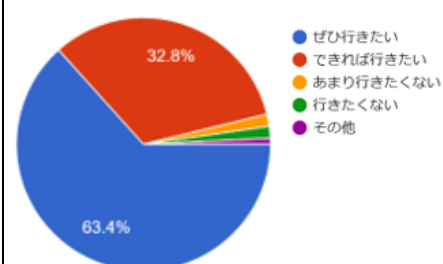
1年生



2年生

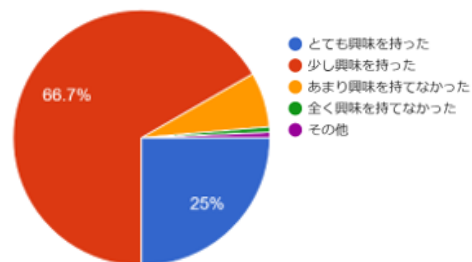


3年生

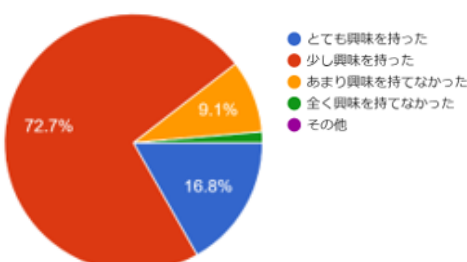


問3 県議会やお住まいの市町村の議会の活動に興味がありましたか。

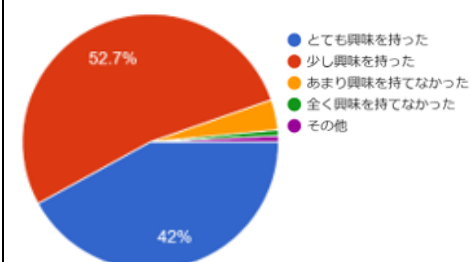
1年生



2年生



3年生



～意見・感想～

1年生

- ・ 自分が思っていることを国に伝えるために選挙に行きたいです
- ・ 宮崎県の議員は39人いるのに女性が4人しかいなかったことに驚きました。その問題もこれから先、解決していくか気になります。
- ・ 自分たちの意見を通すためにも選挙に行くことが大切だということがわかりました。
- ・ 改めて詳しく知る県議会の活動内容や女性議員ならではの体験談などが知ることができてとても良い時間でした。
- ・ 私も将来何かをきっかけに議員になることがあるのかもしれないと感じさせられました。

2年生

- ・ 自分の住みやすい地域になるように有権者になったら選挙に行きたいなと思いました。
- ・ 今までは議会に提案したいことなどがあっても、やり方が分からなかったり、政治家に対して難しい印象を持っていたのですが、今回の講座で政治家の人が意外と話しやすいなと感じたり、私達が提案をする方法もあるんだということがしれたので良かったです。
- ・ 批判の声もあることがわかったけど、男性にしかできない意見、女性だから出来るものがそれぞれあると思うので宮崎をより良くするために頑張りたいと思った。

3年生

- ・ 議会や政治家というのは今まで程遠い存在で難しいものと思っていましたが、選挙を通して自分の考えや要望を議会に出してもらえるかもしれないので投票することによって私達自身も政治に参加していることになるんだと感じました。
- ・ 若者は意見はするけど行動に移せていない人がたくさんいるなと思いました。まずは選挙に行くことが生活をよりよくする一歩だと思いました。
- ・ 議員の人たちの仕事内容や生の声を聞くことができて良かったです。私達若者が選挙に積極的に足を運ぶことが大事だとわかりました